

# 本の修理 きほんのき

## その4 材料のこと

長く保存する本の修理には、化学的に安定した材料を使いましょう。治し方があっていても間違った材料では失敗します

### 和紙（わし）



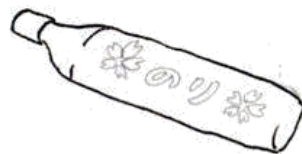
しなやかで丈夫、繊維が長いから洋紙にもなじむ

紙はタテ目で表（つるつる）を上にして使う

薄いから厚いまで  
4種類くらいあると便利

### でんぷん糊（のり）

本の中身（ページなど）に使う



水で薄くのぼして使う やわらかい仕上がり

何度もやり直しができるから失敗しても安心

乾くのにかかる時間がかかる

### 白ボンド



強い接着力が必要な外と中のつなぎの部分に使う

木工用で十分な強度 速乾性あり

でんぷん糊だけでは強度が足りない、と感じたら…

### 混合糊（でんぷん糊＋白ボンド）



でんぷん糊2：白ボンド1 さらに水でのぼす

Q セロファンテープはなんで使っちゃダメなの？

A 時間がたつと、黄色く変色したり、テープがパリパリにはがれ、粘着だけ残ります

**厳禁**

接着剤付の補修用テープも長く保存する本には不向き  
貼ったところは丈夫でも、他の部分が壊れやすくなります  
特に力がかかる部分は、はがれやすい

一度貼ったらきれいにはがすことができず、失敗したときや、もう一度修理が必要になったときに邪魔になってしまいます  
※ 修理の基本は糊と和紙！

